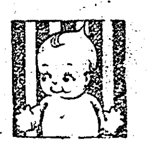
夕刊
八月二十四日發行

涼風隨感（上）

古川生



風俗の問題

現代の日本で服装によつてその職業を判然と見分けられるものは僧侶と軍人とであらう。

それ程日本の現代風俗は平等化と云ふか、一般化と云ふか單一化して來た。日本で最も判然と服装に區別つけられて居た時代は徳川時代即ち封建時代の最盛期であらう。封建時代が良いとか現代が惡いとかの問題ではない。

若い女性にしても人妻か娘か女給か藝妓か見分けがたい事がある。

併し乍ら近頃はナチスやファシストの眞似かどうかは知らないが制服ばやりの傾向もある。

自分は風俗と云ふものを素直な氣輕な心持では考へられなくなつたのではないかと思ふ。

封建時代の服がせいでせかれて今頃になつてきれゝのではあるまいか。

近頃の療病的なものでない享樂的な温泉旅館などが待合式なつくりになつて來たと云ふ。

東京や大阪あたりのお汁粉屋が待合趣味になつて來たと云ふ。其處に行く人々が意識するとしないとにかゝはらず温泉とか盛り場の好みが斯くの如き方面に趣向をむけると云ふ事は社會的な現れ、風俗性の表現が事變以來の滔々たる日本的嗜好日本趣味に動いて行くのであらうか。

今迄の西洋趣味、或は西洋的な享樂を超えて又日本趣味にもどりつゝあるのではあるまいか。

服装にしても何種類かの國民服の發表があつたが併しあまり今迄の洋服に少し毛のはえた程度にしか見えない。併し乍らそれに何とか洋服を日本的なものに、日本趣味の服装にかへしたいと云ふやうな努力があるとも見られるやうである。

興亞奉公日にしても一日の自肅した生活を送らねばならないと云ふ趣旨からはみ出し、接客女性が休みを幸ひ利用して馴染の客と一日の歡をつくすと云ふやうな事が或る新聞に見られ居た。

商店員の公休日にも最初は斯くの如き現象が見られたと云ふ。依つてその公休日は今後、修養の方面にあてられるやうに努力されてゐると云ふことである。修養について寺院の方面なども利用せられてゐるやうだ。

前線の夏

遠藤　逵一

（一）

○熱たかくおきくる蕃藷葉にそゝぐ風音いたく身にひゞかひぬ

○ふるさとの山、繁れる山椒を熟ばめる身も一夜想ひし

○薬ごもりも風止む日なかねむりより冷たかきてめざめぬ

○背をながるゝ汗したゝりてしはふいば裸のまゝを陽にむけて干す

○隊伍なく來りし兵らの組む叉銃に亂咲く畑をかぎれり（けしと兵隊）

8月25日
△和氣淸麿配流（神護景雲三）△中江藤樹逝く（慶安元）△鐵砲渡來す（天文一二）

8月26日
△「ニッポン」午前十時二十七分東京出發、翌日札幌着（昭和一四）

つれづれぐさ

○

類難は吾人の短氣に乘じこゝの刺を鋭利にす　ホーン

講談　夜嵐お絹

[154]　松鶴軒圖玉　簡井政衛畫

比翼の腕守

「おきぬ、其腕にあるは何か」

と牧野讓に問はれておきぬはハッと驚いた。

「これはお守でございます」

「神佛の守を腕にはめて居るか、それを見せろ」

と云つた時におきぬの背後にゐた探索係の大澤鐵太郎が

「おきぬさん、それを取つて御覧に入れナ」

據ろなくおきぬは此の守りを取つた、それを大澤が受取つて牧野に渡した、牧野は見たが

「これは何んと云ふ守りか定めし此守りには名稱があらう、紺天鵞絨で出來て居る、それに金の金具があるぞ、ウーム好い香りがする斯の如き香り高い守りは何れの神佛から出すか」

「旦那、其守の中には麝香が入つて居ります、ヘエー藝者はこれを伊達に腕へはめまして其事を腕守と申します、男は左、女は右と定つて居ります」

と大澤が説明した、村田それを聞いて、

「オ、さうか、それを腕守と云ふか、この金具には紋が刻してある三ツ柏と生薑の紋が附て居る」

これを聞いて大澤が

「それは生姜でございません、抱茗荷でございます三つ柏と抱茗荷とが比翼になつて居ります、オイおきぬさん、此の三つ柏はお前の紋で抱茗荷は瑞鶴の紋だナ、然しも定紋だらう役者としての紋には野暮すぎる、誰方か御大名の紋にあつたせ、おきぬさん、役者を離れて定紋を三つ柏と比翼にするやうでは、お前と瑞鶴の間には艶ッポイ事があるに相違ねえ、お前はそんなことはないと云ふが此腕守りが白狀して居るぜ、手數をかけなさんナ、早く泥を吐いてサツパリしたら宜からうと思ふがのウ」

と急所を突かれた、おきぬはヂッ考へてゐたが

「さうですネ實はネ瑞鶴さんと夫婦約束をした事があるんですよ！」

此時牧野讓が

「それでは金平の目を忍んで、瑞鶴と密會し居つたナ」

「ハイ、斯う云ふ證據が出ては知らないとは云へません、瑞鶴さんと惡い事をした其の罪、お處刑を受けるは自業自得、然しわたし一人懲役には行きますまい、定めし瑞鶴さんも懲役になりませう、赤い着物を着て一つ鎖で繋がれるはわたし嬉しいわ」

「默れ、此女は氣が狂つて居る、コレおきぬ、瑞鶴と夫婦にならん爲に金平を毒殺し居つたナ　白狀せい」

「其處は覺悟でございません……何ンでそんな人れ惡い事を云ひてサ　わたしは旦那を殺すやうなそんな大それ事をするやうな女た事が出來ませう」

「言はねば言ふやうにし白狀させるであらう、横道者奴」

と睨み付けた、スルト大澤が

「おきぬさん、もう一つ泥を吐くが宜い、今旦那が何ンと云つた、言はなければ言はせるやうにして白狀させる、お前の軀に言はして見せる、判ッたらうナ」

と凄い事を云つた、此時代にはまだ拷問を用ゐる

おきぬは小林金平を殺したことを云へば斬首に處せられる、如何なる苦痛をも耐へ忍び此事のみは云ふまいと心にピンと錠を卸し

「大澤さん、そんな氣な事ではありませんよ、あゝ人の一生は判らないものだネ　思ひも寄らぬ疑ひをうけて……」

とホロ／＼と涙をこぼしたが、何うすれば斯う云ふ時に涙の融通が附くか、此邊は學者先生に研究して頂きたいものです。

此日の調べはこれにて止め、翌日おきぬは丸の内の彈正台に送られたが、前にも申したが此彈正台は裁判所の事、判事が調べたが小林金平の毒殺の一件は知らぬとのみ申して居る、そこで獄に送られた

此頃はまだ幕府時代からの牢獄があつてそれへ入れられる　其場所は傳馬町、現在細面堂のある所、丸の内にも牢獄はあつたが是は事務に關した犯罪者のみ入れて置く　他の者は傳馬町牢へ送つた

廣告

牛トッツィ
おでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ壇
電話三三三番

一平
おでん
たつた場
やきとり

重田眼科
眼科專門
眼鏡檢定
平　驛前
重田醫院

外科一般
內臟外科
肛門病科
皮徽科
泌尿生殖器科（婦人科 性病科）
專門
（入院隨意）
平市字鍛冶町
白土醫院
電二七九
看護婦及見習看護婦募集

時局ノ生ンダ新案特許
日ノ丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法半紙節約ノ目的ニテ墨テ書キテ濕雜巾ニテ拭ッテ斃ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案
メモ板　第二七七九〇四號
野球用ボール第一七九七三號
興亞ノート　第二四七九八號
專賣特許
興亞厚紙（第(イ)一七三六〇號 第(ロ)一七三六號）
平市月見町十三
合資會社　興亞特許商事
同　月見町三十三　工場

体位向上の夏
新舞子や四倉の海は招く
海岸行は快適な木炭バス
今年は更に増車致しました
平……四倉　往復券二割引四十錢
御案內（團体は特に御相談に應じます）　自動車停留所からの道程
※ピクニック、船遊びには日本百景
新舞子、仁井田浦へ……約一丁
※海水浴には……四倉海水浴場へ……約二丁
※波立藥師、鐙ケ淵海岸へは……約八丁
平市四丁目
合名會社　平四倉乘合自動車
電話五九四

生公華
肋膜炎　氣管支
關節炎　神經痛
肺炎　ロイマチス
皇漢藥と＝生公華
◎皇漢藥を愛するは國民の用務なり、國産愛用の今時輸入藥は成る可く避け漢藥に眞念を持つは人世百年の生命なり。
◎本藥生公華は……此の藥の主成分……血液循環を……
價藥　八〇瓦入　九十五錢
福島縣平市五町目角
山野邊藥局
治淋新劑　アミトン主劑　六〇七號

腸內・殘敵を掃蕩せよ！

便通のない日があつてはならぬ！

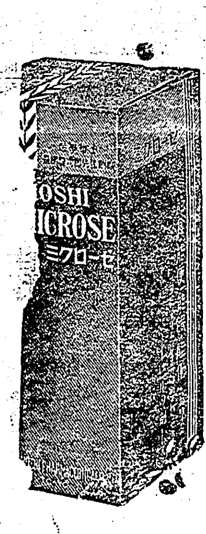
我々が口から食べた食物も、一日、腸內に滓として停滯すると、忽ち恐るべき毒素を發して種々な病毒をひき起します。日く、頭痛、無氣力、メマヒ、目眩、動悸、ヒステリー、高血壓、不眠、吹出物等……すべて腸內殘敵の仕業です。何分にも、我々の身長の四倍強の長さを持つた腸內のことであります。その中に毒素が充滿し、血液中に浸入して行く有様を想像して見れば、排泄の大切さ、便秘の怖しさが解らない人はないでありませう。食物が、人間の消化器官を通過して、排泄される迄には、大體二十時間乃至二十二時間を要するのであります。故に、健康人は日に一回、規則正しい便通がなければならない筈であります。

便通がないからと言つて

直ぐに下劑を服む人がありますが、大間違ひであります。下劑は、腸の活動力を弱め、恐るべき習慣性を作ります。

・・・・・・酵母劑の上を行く我がミクローゼは、單なる便秘專門藥ではありませんが、強力な各種消化酵素とヴィタミンBの力によつて、腸の勞力を省き、腸動力を強め、消化吸收を助け、快い便通を齎す一大特徴を有して居ります。

ミクローゼは、前京都帝大醫學部助教授豊島豊次郎先生が十八年に亘る御研究の結果、酵母にまさる唯一のものと斷定された日本固有のビルツ（有効菌）に據る胃腸強生劑であります。



胃腸強生　ミクローゼ　（一ヶ月分三六〇錠 二圓五〇錢）

東京・五反田　製藥株式會社
試驗五日分六十錠を切手十錢で送呈す。

怠ると處罰される
家屋税申告は月末迄
地方の該當者注意の事

去月十三日付官報を以て家屋稅法が公布せられ國稅として明後十七年度から賦課さるる事となつたので法の定むる處により本年七月一日に於て該稅を課せらるべき家屋を所有するものは來る三十一日迄に申告せねばならない

市、郡下の家屋は約五萬戶で、この內調査上の便宜から一棟或は一郭內にある家屋を『構え』と稱し之を單位とした計算が三萬と云ふ事になつてゐるので、今後同稅の賦課すべき口數がどの程度に達するかは本格の調査を進めた上でないと判明せぬが各種事業の勃興などで躍進底止する處無き土地柄の市及び郡下の該當事項は可なり大きな數字に上るものと觀られてゐる

平稅務署では過般管內各市町村役場に申告書用紙を配付し目下右申告の取り纏め中であるが該調査上課稅家屋と非課稅家屋とに就て平稅務署長川鍋司稅官は語る

之種建物に課稅
除外例等に就て
川鍋司稅官談

課稅さるゝ家屋は住家店舗、工場、倉庫其の他の建物で之等家屋中住家には寄宿舍を、店舗には旅館、料理店及事務所を含むことに定められて居るが之が住家に附屬する土藏、納屋、盃室等は之を住家とし店舗兼住家は主なる用途に依り店舗、又は住家と、集團地域に在る店舗兼住家は大体之を店舗として取扱はれることにならう、尚建物とは通常風雨、寒暑を防ぐべき設備を有する建築物と觀念される部類のもので家屋の用途產業政策社會政策其の他各種の事情に鑑み家屋稅を課せざるを適當とする公共團体、神社、私立の幼稚園その他十項程の除外例認められてゐる云々

尚ほ右の外細目に就ては川鍋署長から更めて說明をこふ事になつて居る

民間から指導者起用
常會の運用講習會
來月一日平市で開催

新体制の發足と共に地方市町村の常會、町內會の任務は一層重要性を帶びるので縣ではこれが常會指導者として耶麻郡喜多方町矢部善兵衛氏を起用、來月一日平市を皮切りに縣下各地で常會指導者講習會を開くが從來常會に縣市町村吏員が中心となつて指導して來たものを今度民間から實踐の指導者を選んだことは新体制に即應せる縣當局の英斷として今後の活潑な運用が期待される

鹿島走熊局昇格か

鹿島村では同村走熊郵便所の取扱事務が昨今著しく激增したので目下三等局へ昇格方を仙台遞信局へ陳情中だが本年中に實現の模様

戰歿勇士慰靈祭

市內鎌田町青年團では昨舊盆二十日夜傳統久しい流燈會を形式的に濟ませた後高木弘源寺住職により戰歿英靈並に無緣佛の供養を行つた

小遣を寄附

市內四丁目箭內酉治さんはお盆の小遣ひを節約金三圓六十錢を市銃後奉公會へ寄附した

明日曜を最後に
海水浴に終止符か
爽秋の色漸く濃厚

二百十日も一週間後の來月一日に迫つた。日中は今尚は殘暑酷烈、さながら釜中に在るの思ひあるが、天の飾き、黍の葉ずれ、目にも耳にも朝夕はさやかに秋が感觸され來つた此頃である。惠まれた天氣續きに四倉その他各濱の海水浴は例年より幾分壽命が長く感ぜられるが暦面の移行は爭はれず暑い裡にも一脈爽涼の氣掩ふべくもない明廿五日の日曜あたりを最終に、今年の海水浴は大体終止符が打たれるではないかと觀られる

虛僞の申告
逃げた小僧に

鹿島村走熊農新妻一行(三四)は去る十七日雇人の郡山市生れ櫻本某(一九)が無斷家出したが手不足の折だけに引戾す一策として平署に櫻本が現金二百圓を拐帶逃走したと虛僞の申出に及んだことと判り、かへつて平署の取調べを受けた

○○○○現金を盜む。東白川郡豊里村高野谷地生れルンペン菊地辰吉(四七)は去る二十一日平市內鯨岡櫻井茂作方の留守宅に入り滯在中の相馬郡原町新田吳服商白井チヨノ(五七)所有の現金三十一圓八十七錢入り蟇口を窃取して平署に檢擧された

○○○○家庭用ビール配給。小名濱町では二十三日第一回家庭用ビールを配給した

鄉を擧げて歡びの渦
時局柄お祭り氣分は拔きにせよ
鮫川水利事業竣功式盛况豫想

關係官民多年の血みどろな苦闘によつて終に完成を見るに至つた郡南上遠野、植田、玉川、泉、渡邊、小名濱二町四ヶ村八百餘町歩の灌漑用水たる鮫川堰農業水利改良工事竣功式は既報の如く來る二十九日午前十一時から植田町小學校講堂に於て

祭式、式辭、工事ト報告、祝辭、功勞者、組合表彰、答辭

の順序で擧行終つて同所に於て鹽谷組合管理者を會長に古川常設委員を副會長とする祝賀協贊會の祝宴を催すことになつてゐるが右は啻に菊田地方一局部の農業發達史上に特筆さるべき劃期的事業の完成たるに止まらず地方產業界の一エポツクであり、時局柄派手なお祭り氣分は避け乍らも當日の同地方は恐らく歡天喜地の祝福光景を點描するものと豫想される

磐中軍連霸成るか
けふ東北水上大會で力闘

今二十四日から仙台二高プールに展開さるゝ同校水泳部主催東北々海道中等學校水上大會に出場し井出主將以下磐中選手は昨二十三日飯田仙宿舍に一夜の英氣を養ひ連霸を期し颯爽として今朝來の各種目に壯快な力泳振りを見せるが、水にかけては東北に名だたる磐中とて第一日目の勝ち殘りは殆ど既定の事實と觀られ刻々展開する戰績の情報が今日の河童連を待ち遠うがらせてゐる。因に前回の決勝は福島商業との同志打ちで本年も同校との爭霸成績が大局を決するではないかと見てる向が多い

玄米の闇

双葉郡廣野村下淺見川米穀商根本右平(四三)は今年四月湯本町三函米穀商千葉マサ(五七)に玄米三百二十俵を一俵當り一圓二十錢の闇で賣り三百五十圓の不當利得を得て此程平署に檢擧

獻金

平商業學校一年生八巻時三、平第一校尋六船生喜八、同尋五三森重光同尋二三森重幸君らは夕休中の奉仕として街の鐵屑類を集めて賣つた第二回目金

一圓十錢を

○箕輪村榊小屋字中根鯨岡忠重さん、好間村北好間字推木平安達淨信さん、佐藤とくのさん、佐藤みやのさんら四名は舊盆中の御詠歌謝禮金十圓を何れも此程獻金した

時局詐欺に第二次突風
欺しだまされた惡の交錯
平署近來のお手柄

燃料不足につけ込む惡ブローカーの横行も既報市內戶澤、三福礦業所主任の檢擧に端を發した平署當局の銳い搜査眼によつて影をひそめ、或る鑛業所事務所の如き早くも看板を取りはずしたものもあるなど、この方面に於ける脛にキヅ持つ惡玉連の心膽を寒からしめてゐる、次も同署の手によつて摘發された大がゝりな時局詐欺で複雜多岐に亘る惡の交錯に司法當局擧げて苦心の追究を進めた近來の事件である

即ち市內仲間町七二綠川トラ方に潜伏中笠原刑事に捕はれた東京市中野區宮里町二五前科一犯本田友治(四三)は東京市內の木炭不足を奇貨とし本縣須賀川方面に直ぐ發送出來る木炭が山程あると出鱈目を並べ今春三月以來東京市本郷區駒込学坊酒造業樋田鼎から二千五百圓同市世田ヶ谷區上馬二の一一七〇東洋燃料商會石川惣太郎から二千五百圓、同澁谷區穩田町木炭商鶴見宮藏、船橋茂一郎名から二千圓　同荏原區上神明町木炭商齋藤常一郎から千圓其他合計一萬餘圓を內金名儀で詐取これを元手に須賀川町深谷三郎氏發明の移動式木炭燒ガマの發賣權をとり「東北燃料工業會社」なる合資會社を設立して自ら代表社員に納り須賀川地方の名士を招待華々しい披露宴によつて『僞裝企業家』となつたところがこの大芝居の樂屋裏を知る友達の須賀川町塚田東京市世田ヶ谷區羽木二七二九生れ前科一犯新井茂(四七)が前記東洋工業會社に關係あるを幸ひお家乘つ取りをたくらみ獨斷で東京市下谷區淺草神吉町石井幸太郎を通じ橫濱市某に六千圓で會社の賣買契約を結び、內金三千圓をせしめて逃走中だつたが此程平署の手配で郡山署に捕はれたことより、この狸と貉の詐欺事件も遂に幕。

なほ新井は昭和十一年十ヶ月の刑を經へて豊多摩刑務所を出獄後各地を轉々、北海道居住以來人妻と同棲してゐた强かものである

率先酒造米を供出
磐崎村御代氏の美擧

磐崎村岩ヶ岡酒造業同村警防團副團長御代德治氏は米供出週間二日目の昨二十三日「米は酒よりも大事だ」と酒造米百俵を率先供出、村民に範を垂れた

筑波山
珠霙　小野務平

脚連霞浦水光濃
頂拔雲宵見偉容
積雪千秋斜照麗
筑波眞個小芙蓉

平市慶弔

△出生　新川町二三阿部榮造氏長女素子さん、立町一〇一小澤浩治氏三男哲平君

▲死亡　本籍材木町一一神谷村鎌田字岸六二面雅談君(二)番所町一九渡邊貞夫君(二)堂の前一九大津光之君(一八)

新体制下の地方選出七縣議に
今後の提携期待さる
諸問題の促進顯著か！

稅制大改正に伴ふ縣稅附加稅徵收條例改正案を審議する臨時縣會は愈よ明後二十六日招集されるので市、郡下の小野、關內、赤津、木村、宮野、坂本、諸沼の七縣議が轡を並べて出席するは云ふ迄も無いが今回の縣會は從來と異つて新体制參加に基く政民兩黨支部の解消により、昨年來區別されてあつた兩派所屬議員の控え室も一つとなり其間何らの隔壁なく渾然融和の即時局的形式の下に議案の審議に當る新体制下第一次の劃期的顏合せであり、審議も時局柄無意味な論戰を行はず議事の快速化を圖ることゝなつてゐるので一週間となつてゐる縣會期間も大体二日間位で終るではないかと豫想さるると同時に時勢が齎らした黨派關係の消滅は地方關係七縣議の結束提携を極めて鞏固ならしめ將來諸問題の解決を急速促進する上に於て益する處頗る絶大なるものあるべく地方民をして少からず明朗感を懷かしめて居る.

拈華微笑

市郡下選出七縣議、新体制の聯絡な紐帶で結ばる

□

政黨派的の底渦を結ぶ頂點が地方民大衆の役目だ

□

荊の道を顧みて感無量の一面お万歳を外して光輝露月の必勝か

□

二百十日の電報に微動もせぬ稔肥れ伸びよ地方此頃の稻

□

夕されば黍の葉づれかそけく遊子の胸の琴線は鳴る。秋だ

新暦八月二十五日　日曜
舊七月廿二日　庚子　佛滅　定　虛宿

▲一白　外部の不安去らず進まんとすれば失敗あり ▲二黑　發展向上の大吉日たり氣緩みせぬやう注意 ▲三碧　地盤を固めて進めば永久の喜びを開くべし ▲四綠　別に無理を働かずとも自然の發展あるべし ▲五黃　一度立てたる計畫は何處までも貫ぬくべし ▲六白　交際上注意せざれば爭論を生ずることあり ▲七赤　空想に走らず堅實にじりじり進むが尤も吉 ▲八白　行つまり居りたる計畫も追々と緒に付くべし ▲九紫　一時不安はあれども遠からず順調に赴むく

新暦八月二十六日　月曜
舊七月廿三日　辛丑　大安　執　危宿

▲一白　一時調子付きたるはなしも後は破れ易し注意 ▲二黑　花々しき發展はなくとも隱れたる功ある日 ▲三碧　ゐびの風は息まんより來る腕一杯に働くべし ▲四綠　靜かに安らかに氣永に辛抱すれば吉日たり ▲五黃　一矢は折れども三矢の力は强し氣を揃へよ ▲六白　此より吉くなる初め支障の爲め氣を折るな ▲七赤　目先きを捨て大局に着眼して働けば大勝利 ▲八白　德を以てすれば如何なる礙も犯し得ざる日 ▲九紫　けん遜の德は我を樂園に導くものと知るべし

二十五日【小名濱測候所調】
滿潮　前七、五五　後八、一五
干潮　前二、〇五　後一、三〇

天氣豫報　小名濱測候所發表
今晩　南東の風晴時々曇
明日　同斷雨模様

田毎のアイスクリーム
田町電632

故障の起らぬ　AK　原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

開院
外科一般
內臟科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長　上田耕作
電話一二九番

お知らせ
一、此の度東都名流美容師を招きまして、銃後女性に最も相應はしい永久性淑髮（パーマネント）を八月一日より始めますどうぞ御利用下さいませ
一、毛髮を傷めぬ高級藥品を使用致しまして充分御滿足頂ける樣努力いたします
一、料金　毛先三、九〇　全髮四、〇〇
お好みにより部分的にもおかけいたします
平市田町五（自宅電話六三八番）
研美院

音が生命
ビクターラヂオ
5R15　¥125
テレビアン
ナショナル
ビクター
代理店
富永ラヂオ店
［電四九六］

產婦人科專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）
電話三四番

平みやげ
磐城平の名所地が
一目でわかる
米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中專門店